

報道発表資料

相談解決のためのテストから No. 112

平成 29 年 6 月 29 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

取り出しツマミが鋭利な排水口のごみ取り

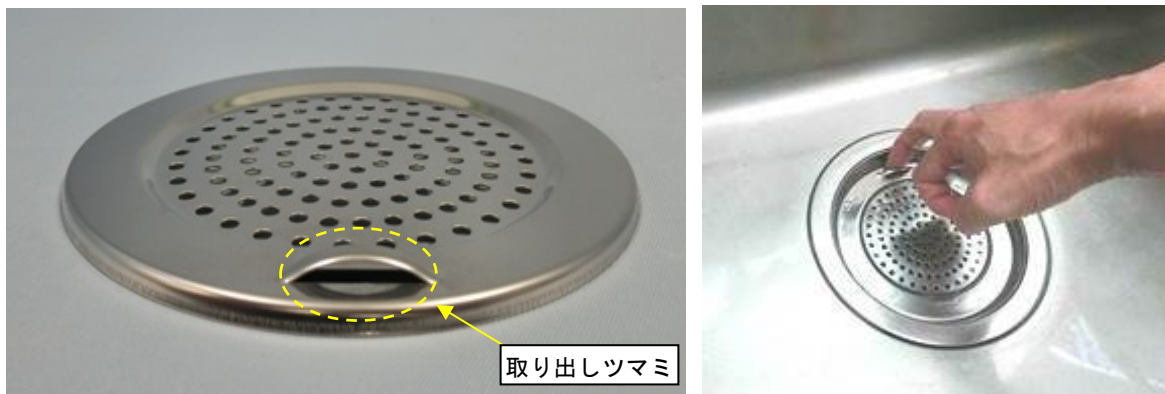
1. 依頼内容

「排水口のごみ取りを外そうとして、右手中指を切った。鋭利なところがないか調べてほしい。」という依頼を受けました。

2. 調査

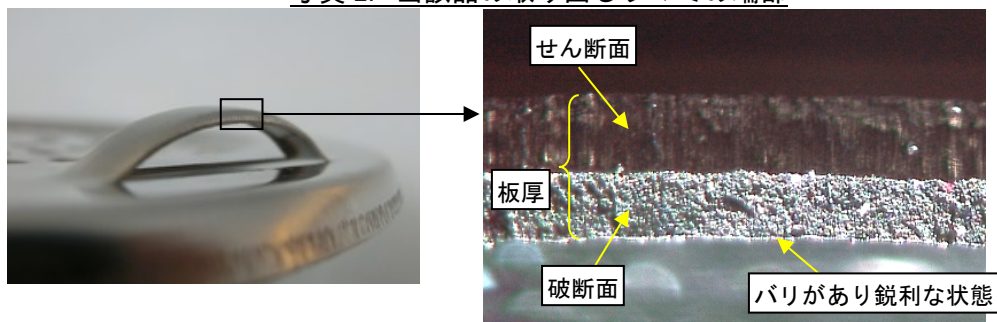
当該品は、流し台の排水口に設置して、ごみを濾し取るもので、ステンレスの板に小さな穴があいた構造となっていました。相談者によると、当該品を排水口から取り出す際、取り出しツマミに右手中指を引っかけて取ろうとしたところ、ツマミが指に食い込んで指を切ってしまったとのことでした（写真 1）。

写真 1. 当該品の外観及び事故時の状況



当該品の取り出しツマミ及び本体外周部の端部をマイクロスコープで観察したところ、いずれもプレス加工で打ち抜いた際にできたせん断面及び破断面が観察され、取り出しツマミの破断面端部はバリ取り加工の形跡はなく、鋭利な状態でした（写真 2）。一方、外周部の破断面はバリ取り加工されており滑らかな形状でした。

写真2. 当該品の取り出しツマミの端部



そこで、取り出しツマミ端部の鋭利度について、参考に玩具安全基準（ST 基準）及び米国の安全規格（UL 規格）のシャープエッジテストを行ったところ、いずれのテストにおいても鋭い縁部と判定され、場合によってはけがをするおそれがありました。

<テストの概要>

1. ST 基準

ST シャープエッジテスト専用器具に設けられた回転軸の先端に粘着 PTFE（ポリテトラフルオロエチレン）テープを 1 回巻き付け、力（6N、612gf）を加えながら、調べたい縁部に沿って 360° 回転させ、テープに生じた切り口の長さを測定する。

判定基準：テープに 50%を超える切れ目が確認された場合は、その縁部は“潜在的に危険な鋭い縁部”とみなす。

2. UL 規格

UL シャープエッジテスト専用器具の先端に規定の 3 層のテープ（内側から 1.6mm 厚の黒色ビニールフォーム、0.8mm 厚の白色ビニールフォーム、0.076mm 厚の粘着 PTFE（ポリテトラフルオロエチレン）テープ）を巻き付け、力（6.7N、683gf）を加えながら、調べたい縁部に沿って往復させ、テープに生じた切り口を観察する。

判定基準：外側 2 層のテープを貫通する切り傷が生じている場合、“人体傷害の恐れにつながる鋭い縁部を持っている”とみなす。

また、当該品パッケージには、取り出しツマミを棒などで引っかけて取りはずす旨の表示や、金属の切断部分で手を切らないように注意する旨の表示がありましたが、ツマミの形状から指をかけてしまうことも考えられました。

以上、当該品は取り出しツマミの端部が鋭利であり、指をかけるおそれがあることが考えられました。

3. 解決内容等

依頼センターがテスト結果を事業者に説明したところ、取り出しツマミの端部をバリ取りし、鋭利な部分をなくすほか、取り出しツマミに指先が入りにくい形状に変更するとの回答がありました。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165